



斉藤重美 (自民公明クラブ)

## 大雨による農地・農業用施設の被害状況は

### 畦畔のり面崩壊・農道路肩崩壊など178件

議員 8月3日から

の大雨による農地、農業用施設の被害状況は、

農林商工部長

農業者

等からの届出を基に取りまとめた結果、農地95件、農業用施設83件で、主な被害状況は畦畔を含むのり面の崩壊、農道の路肩部分の崩落、農業用排水路の土砂での閉塞などとなっています。このうち、国の農地・農業用施設災害復旧事業の対象件数は、農地39件、農業用施設22件となっています。

議員 米価下落や物

価高騰の状況もあるため、農業者の災害復旧事業の負担額を抑えてほしいが、市の考えは、

農林商工部長

市の災

害復旧事業費と、国への申請により被災した農家戸数に応じた補助

率がかさ上げされる仕組みを活用し、農家の負担が極力軽減されるよう支援に努めたいと考えています。



持続可能な農業経営のために

議員

農家や農地の

減少が止まらない中、今後市の農地を健全な状態で確保し、農家の

安定収入や維持管理のためにどのような対策を考えているか。

市長

農業者の高齢

化や離農者の増加による担い手の減少や労働力不足の課題に対応するため、新たな担い手の確保、育成を目的とした各種事業を実施しています。さらには、資材等の高騰で経営に多大な影響を受ける農業者への給付金の支給に現在取り組んでいます。今後、農業者からの意見等を反映させた事業内容の充実、国や県の補助事業の活用、関係団体との連携による新たな事業の掘り起こしなどを行っています。

たいと考えています。

## 糖尿病性腎症重症化予防事業の取組状況は

### 医師会と連携協定締結のほか対象者への受診勧奨を実施



櫻田百合子 (市民連合クラブ)

議員

糖尿病性腎症

重症化予防事業の取組状況は。

市長

取組を推進す

るため、平成30年6月に上十三地区医師会と連携協定を締結したほか、糖尿病が重症化するリスクの高い対象者を抽出し、医療機関への受診や保健指導の案

内送付、さらに個別に電話で勧奨し、希望者には保健指導を実施しています。

議員

事業の課題は。

民生部長

長年の生活

習慣を変えることや改善した生活を継続する難しさ、頑張りがなかなか検査結果に反映されないことで支援を拒否する方や問題意識が薄い方が多い状況です。実情を把握し、個々に合わせた質の高い効果的な支援が求められていると考えています。

議員

保健指導のスキルアップのため、研修会など行っているのか。

民生部長

上十三保健

所管内糖尿病重症化予防対策研修会や中央病院が主催する糖尿病ケアチーム研修会、市内有志が集まる十和田糖尿病療養支援を考える会に参加し、現状や課

題を含め情報共有しています。



若駒学習室のある教育研修センター

議員

適応指導教室

(若駒学習室)では将来を見据えてどのような支援をしているか。

教育長

関係機関との

連携による個々の児童生徒に応じたきめ細かな支援策が不可欠と考えており、今後も児童生徒が学習や中学校卒業後の進路選択に前向きに取り組むことができるよう、個々の心身の状態に寄り添いながら、将来的な社会的自立に向けた支援の充実に努めていきます。